



CACFP

*Building for
the Future*

託児所でケアを受けている子供達が、栄養のある食事を取ることが出来るように援助しているプログラムがあることをご存じですか？

それは (Child and Adult Care Food Program — CACFP) と呼ばれるプログラムです。このプログラムではケアをしている子供達に栄養がある食事とおやつが提供できるよう、託児所に金銭的援助をしています。

この広告には皆さんがこのプログラムを知るために手助けとなる情報を載せました。どのような手続きを経てプログラムに参加するのかについての情報及び、よく質問を受ける 事柄についての答えなども含まれています。

CACFP とは？ CACFP は連邦政府の栄養に関する援助プログラムです。殆どの州において州の教育機関又は、保健機関によって運営されています。合衆国農務省 (以下 USDA) が全国におけるこのプログラムの責任機関です。

自宅で託児ケアをしています参加は可能でしょうか？ 大丈夫です。あなたの託児ケアが居住をを別とした私宅での託児サービスの免許許可又は、承認を受けているのであれば CACFP に参加することができます。あなたの免許又は、承認は州機関及び、地方機関によって認定されたものでなければなりません。

どうしたらプログラムに参加できるのでしょうか？ 託児サービスの提供者はプログラムの支援機関との同意書に署名しなければなりません。そしてプログラムへの登録を希望する保護者が参加させたい子供一人一人について申し込み用紙を完全に記入しなくてはなりません。

どのような食事を提供しなければならないのでしょうか？ USDA が規定した栄養ガイドラインに準じた食事を提供しなければなりません。そのためにはいろいろな食物グループから少しずつ割り当て、毎回の食事を提供しなければなりません。下記の食事パターン表をご覧になれば分かりますが必要項目として規定された食物は、朝食、昼食、おやつでは少しずつ違ってきます。

朝食：各食物分類から一つ	昼食又は夕食	おやつ：四分類から二つ
牛乳 果物又は野菜 穀物又はパン	牛乳 (コップ一杯) 肉又は、肉に代るもの (一つ) 穀物又はパン (一つ) 果物又は、野菜を二品	牛乳 肉又は肉に代るもの 穀物又は、パン 果物又は、野菜
例：牛乳とバナナとシリアル	例：牛乳とチーズサンドイッチとニンジンとぶどう	例：ベーグルとアップルジュース

どのようにして払い戻しを受けるのでしょうか？ 託児提供者は毎日の食事と出席した子供を正確に記録し、月毎に支援機関へ提出しなければなりません。支援機関がそれらの記録が正確であるかどうかを調査確認した後、プログラムに登録している子供達の食事の中で規定の食事パターンに沿って提供された各食事とおやつに対する払い戻し分の小切手が提供者へ送られます。

何回分の食事に対して払い戻しを受けることが出来るのでしょうか？ 登録している子供に提供された食事の数だけ払い戻しを受けることが出来ます。即ち、登録している子供一人一人に対して一日当たり食事二回とおやつ一回の提供又は、一日当たりおやつ二回と食事一回までとします。

どの程度の金額まで払い戻しを受けることが出来るのでしょうか？ レートは施設の場所、提供者の収入又は、ケアを受けている子供の家庭の収入によって異なります。あなたの支援機関から説明を受けてください。

自分の子供も一緒に含めてケアしています。自分の子供に提供する食事に関しても払い戻しを受けることが出来るのでしょうか？ ある特定の状況下においてケアをしているご自分のお子さんに提供される食事についても払い戻しを受けることが出来ます。このページの下にある連絡先に確認してください。

参加する子供に年の制限はあるのでしょうか？ はい。託児所では 12 歳以下の子供だけが CACFP 援助の食事を受けることができます。

他にも要求事項があるのでしょうか？ はい。プログラムの規則をより良く理解していただくため、あなたの支援機関が育成トレーニング及び、必要書類の提供をしています。

プログラムをスタートするにはどうしたらいいのでしょうか？ 下記の州政府機関又は、支援機関に連絡の上で情報を入手してください。



USDA は雇用に関して誰にでも平等です。